

令和8年度デジタルコンテンツ産業振興事業委託業務に係る提案競技審査委員会審査基準

1 業務委託候補者決定方法

契約限度額の範囲内の価格をもって有効かつ審査委員会が評価項目ごとに定めた審査基準をもとに採点した結果、最も得点の高い1者を業務委託候補者とする。

2 審査基準

審査基準項目		評価内容	配点	
1. 目的	・本事業の目的理解	・提案者が事業目的を理解し、実際の提案内容に反映されているか。 ・提案内容が目的達成に向けて効果的であり、持続的な産業発展に期待できるか。	10	10
2. 企画提案の内容	・ODEN運営支援・活性化	・ODENを核としたコミュニティ形成や新規会員獲得（年間5社以上）に向けた具体的な取組が提案されているか。 ・継続的に参加したくなる魅力的な仕組みとなっているか。	10	50
	・広報・情報発信	・ターゲット設定が明確であり、適切な媒体や方法による効果的な情報発信が期待できるか。県外企業や学生等への認知向上につながる内容となっているか。	10	
	・次世代人材の発掘	・コンテスト等を通じて、若手クリエイターの発掘・育成や産業への関心喚起につながる取組が提案されているか。	10	
	・企業と学生の交流	・企業と学生・クリエイターの交流を促進し、相互理解や将来的な就職・連携のきっかけづくりにつながる内容となっているか。	10	
	・技術人材育成プログラム	・3DCG、動画制作、生成AI等の技術を既存産業で活用できる人材育成の仕組みが提案されているか。企業の業務への活用につながる実践的な内容となっているか。	10	
3. 県内産業への継続的な効果	・地域産業への波及効果	・県内企業への技術活用の広がりや、産業振興への波及効果が期待できるか。事業終了後も継続的な取組につながる提案となっているか。	5	20
	・創意工夫と独自性	・提案者のネットワークや知見を活かした独自性や創意工夫が見られるか。	5	
	・取組の一貫性と連携	・各取組（コミュニティ形成、広報、人材育成等）のコンセプトが一貫しているか。 ・それぞれの取組が独立せず、相互に連動したものとなっているか。 ・事業全体の実施スケジュールや進め方が具体的に示されているか。	10	
4. 体制	・実行体制と知見	・提案内容を確実に履行するための組織体制や連携体制が確立されているか。また、提案者の業務実績とノウハウが実現可能性を示す要素として十分であるか。	10	10
5. 経費	・経費の妥当性	・事業実施に必要なかつ適切な費用が見積もられており、予算内で最大の効果を上げる見込みがあるか。予算配分が詳細かつ透明であるか。	5	10
	・見積価格の競争性	・見積価格を比較し、相対評価により点数を付与する。価格点 = $5 \times (\text{最高見積額} - \text{当該見積額}) \div (\text{最高見積額} - \text{最低見積額})$ で算出。 ※提案者が1者であり、比較対象が存在しない場合は当該項目を勘案せず、前段（経費の妥当性）を10点として採点するものとする。	5	
計			100	

3 企画提案の採点

・提案書等に記載された内容について、審査基準表により審査を行う。

4 採択基準

・審査会での採点結果が6割以上のものを対象とする。